

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆2025年の名目GDPは662兆円、5年連続の増加 物価高受けて過去最高

・内閣府が16日発表した2025年のGDP速報値は名目の実額が前年比4.5%増の662兆7885億円となり、5年連続で増加。物価高の影響で個人消費や企業の設備投資が増え、過去最高を更新した。実質は1.1%増の590兆6759億円で2年ぶりにプラスに転じた。個人消費が4.3%増の351兆円。実質は1.4%増の308兆円。

◆財源不足、赤字国債ゼロ至難 シン3兄弟は消費減税・防衛・ガソリン

・高市早苗政権が衆院選の公約に掲げた食料品にかかる消費税率の2年間ゼロに向けた検討が進む。実現すれば年5兆円ほど税収が減る。2026年中には安全保障関連3文書を改定する方針で、防衛費の水準も上がる可能性がある。ガソリン・軽油の減税に伴う財源の穴も開いたままで「財源シン3兄弟」と向き合う展開があり得る。

◆若者・子育て世帯向け住宅供給を促進 国交省、住生活の計画案

・国土交通省は2026～35年度の住宅政策のあり方を定める「住生活基本計画」に、若者や子育て世帯が希望する住まいを確保できるようにするとの目標を盛り込む。都市部を中心に住宅価格が高騰しており、手ごろな価格の分譲・賃貸住宅の供給を促進する。審議会の分科会で計画案を示した。年度内にも閣議決定する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆健康被害の恐れある鉛製給水管、全廃に向け国が年15万件の撤去目標

・健康被害の恐れがある鉛製給水管残存問題で、国土交通省は、現時点で3割強にとどまる交換計画の策定率を約3年後までに100%とする目標を定め、全国の水道事業者(自治体など)に取り組みを推進するよう求める事務連絡を出した。国が約20年前に掲げた「鉛管早期ゼロ」が見通せない現状を受け、取り組みを強化した。

◆木造住宅1月の建築費指数0.4%増 衛生陶器の値上げが要因に

・建設物価調査会が公表した2026年1月分の「建設物価建築費指数」(暫定値)によると、工事原価で見た木造住宅の建築費指数は149.0となり、前月比で0.4%(0.6ポイント)増加。前年同月比では6.1%(8.5ポイント)の増加。人件費や輸送費の上伸を背景に、国内大手メーカーが衛生陶器の大幅な値上げを実施したことが指数を大きく押し上げた。

◆民間建築物のアスベスト対策率96.8%に上昇——国交省調査

・国土交通省が公表した「民間建築物における吹付けアスベスト等飛散防止対策に関する調査」結果によると、2025年3月時点の飛散防止対策への対応率は96.8%となり、前回調査から0.6ポイント増加。吹付けアスベストなどが露出した状態である建築物は1万4984棟。除去・封じ込め・囲い込みなどの対策を「実施済み」は1万2438棟。

《 注目商品 》

■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ計15品番を発売。



■アイカ、マグネットが使える高意匠不燃化粧板

・マグネットが使える高意匠不燃化粧板「マグフィーノ」を発売。意匠性・耐久性・施工性に優れたメラミン不燃化粧板にマグネット対応機能を追加。壁面に掲示用マグネット、フックや小棚などのマグネット収納グッズを使うことができる。



■三協立山・三協アルミ社、宅配ボックス付きのスリムな機能ポール

・宅配ボックス機能をプラスし、フラット基調でノイズレスなデザインへモデルチェンジした機能ポール。スリムデザインでありながら、80サイズまでの宅配物に対応可能。照明内蔵タイプは、スリット照明で機能ポールの位置を示し、夜間の視認性向上と操作補助を実現。

